

3 2	「鎖国」の時代に開かれていた窓口	学習日の目安 5月 22日	教科書 P120～121
-----	------------------	------------------	--------------

学習のめあて

日本は世界に対してどこにどのような窓口をもって交流していたのだろうか。

学習のポイント

「鎖国」下の4つの窓口

**長崎** オランダと中国と貿易

**オランダ**

輸入：中国産の生糸や絹織物

輸出：銀

⇒出島とよばれる埋立地にオランダ商館を置く

**中国(清)**

輸入：生糸・絹織物・書籍・ヨーロッパ産の  
綿織物・毛織物・南洋産の砂糖・獣皮

輸出：銀・銅・海産物

**松前藩** 蝦夷地（北海道）のアイヌと交易

不当な取引を行う松前藩と戦うも鎮圧される

アイヌの首長はシャクシャイン

**薩摩藩** 琉球（沖縄）を支配した

幕府に使節を送る

**対馬藩** 朝鮮と貿易を行う

将軍の代替わりごとに朝鮮通信使が派遣される

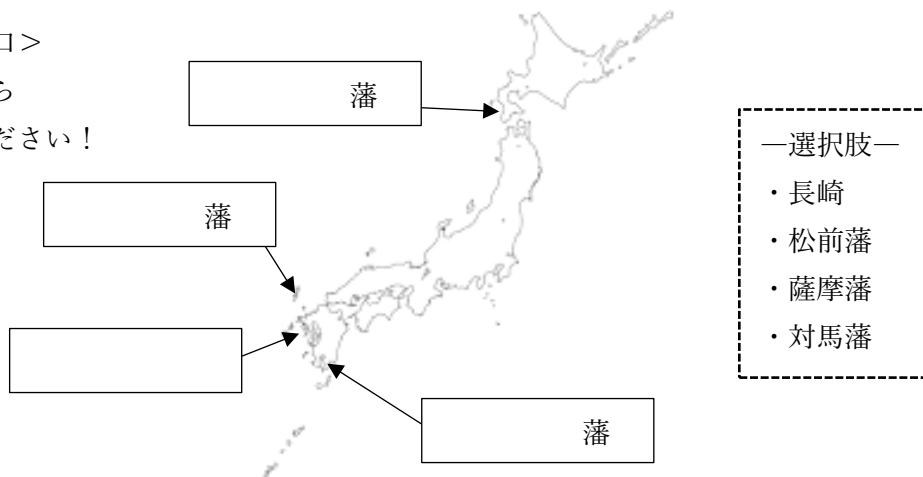
ワークシート

- 1、長崎の出島に商館を置き、貿易を行ったのはどこの国ですか？（ ）
- 2、長崎で日本からおもに輸出されていたのは何ですか？（ ）
- 3、長崎で日本がおもに輸入していたものは何ですか？（ ）
- 4、松前藩がアイヌとの取引に持ってきたものは何ですか？（ ）
- 5、アイヌが松前藩との取引に持ってきたのは何ですか？（ ）
- 6、琉球が幕府に使節を送るのはどんなときですか？（ ）

<4つの窓口>

選択肢から

選んでください！



— 選択肢 —

- ・長崎
- ・松前藩
- ・薩摩藩
- ・対馬藩

1 幕府が中国やオランダとの貿易を許可したのはどこですか。	
2 中国では17世紀の半ばに明に代わって何という国が建国しましたか。	
3 蝦夷地のアイヌの人と交易を行った藩はどこですか。	
4 薩摩藩の支配を受けていた沖縄は当時何といわれていましたか。	
5 将軍の代替わりごとに祝賀の使節として送られてきた使節を何といいますか。	

